



地域ブロック情報

日本社会福祉学会には 7 つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。今号では北海道地域ブロックと東北地域ブロックのご紹介をいたします。

北海道地域ブロック から

北海道地域ブロック担当理事
松本伊智朗（北海道大学）

広報委員会より、北海道ブロックの紹介をさせて頂く機会を頂きました。とはいっても、研究会の開催、研究誌「北海道社会福祉研究」の発行、メールでの各種研究会情報の会員への提供などがほぼ活動の全てで、特別なことはありません。詳細は北海道ブロック（北海道社会福祉学会）のホームページをご覧頂くこととして、以下ブロックの活動を通して感じていることを何点か述べます。

ひとつは「全国学会の地方ブロック」に吸収しきれない「地方学会」としての意味です。北海道ブロックの活動の母体は 1962 年に設立された「北海道社会福祉学会」で、日本社会福祉学会とは独立した組織として活動してきました。現在は「北海道ブロック」として活動していますが、組織としての「北海道社会福祉学会」は並存しており、少数ですが地方学会のみへの入会希望もあります。地方在住の実践者にとって「全国学会は敷居が高いし参加は難しい」もので、より参加しやすい組織が求められているのですが、一方組織が二重になっているのは、運営上悩ましい問題です。簡単な答えはありませんが、研究会の開催、地方在住の実践者の研究を発表できる場や媒体の確保が、当たり前のように大切なのだと痛感しています。

加えて、北海道ならではの広域性の問題があります。北海道全域に実践者・研究者は在住していますが、関連大学院のある大学は札幌圏に集中しており、研究会の開催地も札幌が中心です。遠隔地の会員が参加しやすい仕組みをどう考えるか、悩ましいところです。

こうした難しいことは若い人に考えてもらうのが一番なので、今年度は「若手の交流会」を新たに企画中です。また、「北海道社会福祉研究」は現在 35 号まで発行されており、21 号（2000 年）以降はホームページで閲覧可能です。ご高覧頂ければ幸いです。

東北地域ブロック から

東北地域ブロック担当理事
都築光一(東北福祉大学)

東北ブロックでは、2014年度において、東北部会研究大会(岩手大会)を、「東北における福祉サービスの地域格差を考える」をテーマに、2014年7月19日、岩手県立大学滝沢キャンパス共通講義棟101教室を会場にて開催した。この大会では自由研究発表も18本行われ、盛会のうちに終了した。

東北部会では、自由研究発表を行った会員に研究誌への投稿を認めている。今回発行した研究誌「東北の社会福祉研究第10号」では、昨年の大会で発表した会員の中から投稿がなされ、査読を経て論文4本、研究ノート5本、調査報告1本が掲載された。

このように部会を運営していくために、幹事会を年2回開催しているほか、ニュースレター(年2回)を発行している。

2015年度は、2015年7月4日に、日本社会福祉学会東北部会第15回研究大会(青森大会)を、青森県立保健大学にて開催することとなっており、ブロック内の会員に広報した。

その他特記事項としては、新理事のもとに、新たな部会の体制を整えた点があげられる。会員数が決して多いわけではないので、業務が集中することのないような工夫が必要となっている。

今後の課題として、ホームページを設けていないので、今後開設に向け、学会本部の方針に沿って対応することとしたい。また研究誌の電子化に向けた協議を行う。

日本社会福祉学会東北部会幹事

(青森県) 出雲祐二 (青森県立保健大学)	(岩手県) 宮寺良光 (岩手県立大学)
(宮城県) 高橋誠一 (東北福祉大学)	(秋田県) 藤井博英 (秋田看護大学)
(山形県) 柴田邦昭 (山形県社会福祉協議会)	(福島県) 藤原正子 (福島学院大学)
(監事) 熊坂 聡 (宮城学院女子大学)	(監事) 鎌田真理子 (いわき明星大学)
(事務局) 菅原好秀 (東北福祉大学)	(編集) 田中治和 (東北福祉大学)
(編集) 石附 敬 (東北福祉大学)	(会計) 米山樹里 (東北福祉大学)

東北担当理事 都築光一 (東北福祉大学)